

14

地理

教科書 P.36~P.37

雪と氷に囲まれた地域の暮らし / 標高が高い地域の暮らし

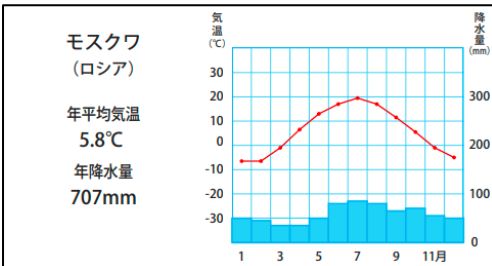
学習の目標： 地域ごとに異なる暮らしの特色を理解し、その理由を説明できる。

◎寒い地域や高地に住む人々の暮らし

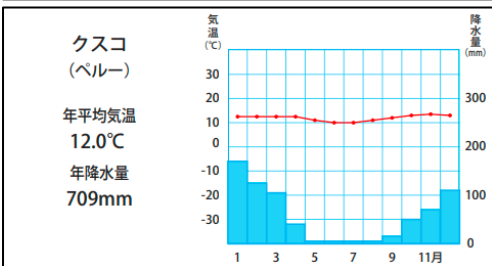


◆この地域の暮らしの工夫と理由を比較考察してみよう！

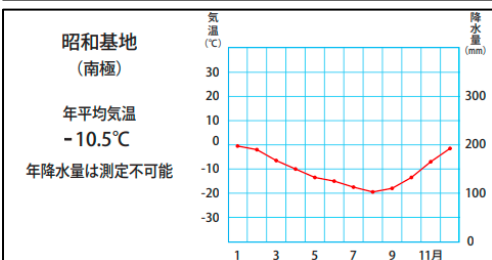
◎冷帯・高山気候・寒帯の特色を読み取ろう！



◆モスクワの気候の特色



◆クスコの気候の特色



◆昭和基地の気候の特色

○ 温帯より (低 ・ 高) 緯度側や、(沿岸 ・ 内陸) 側
【①】 (針葉樹林) が広がっている



【⑤】…寒冷地に住む先住民
冬に雪や氷などで移動用の住居をつくる

[]

○ 冷帯より高緯度

【②】…凍った地面の表面が夏に解け、こけ類などが生える

【③】…1年を通して平均気温が【④】℃を上回らない



[]

○ ケッペンの気候区分に後から付け加えられた区分

○ 温帯付近では標高 2000m 以上、熱帯付近では標高 3000m 以上の高地に広がる。
高度が 100m 上がると気温は、約【⑥】℃下がる。

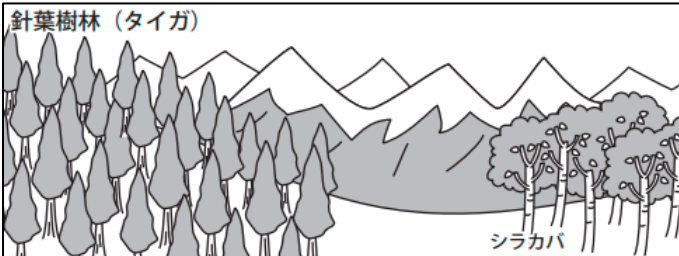
○ 作物の育たない 4000m 以上の地域では、【⑦】や【⑧】の放牧がおこなわれている。



◎各地の気候帯の植生

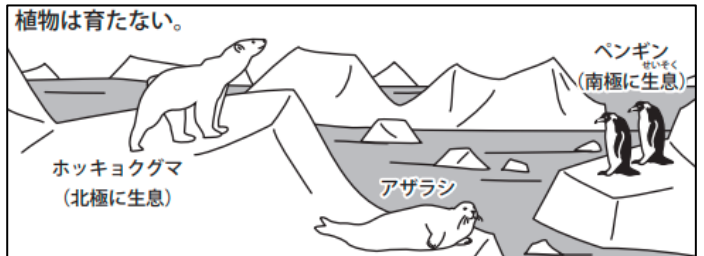
A

[]



B

[]



C

[]

